

令和元(2019)年度科研費等の審査に係る総括

令和元(2019)年度科研費及び平成30(2018)年度国際共同研究加速基金(帰国発展研究)の日本学術振興会審査担当分の応募受付から審査終了までの総括は以下のとおりである。

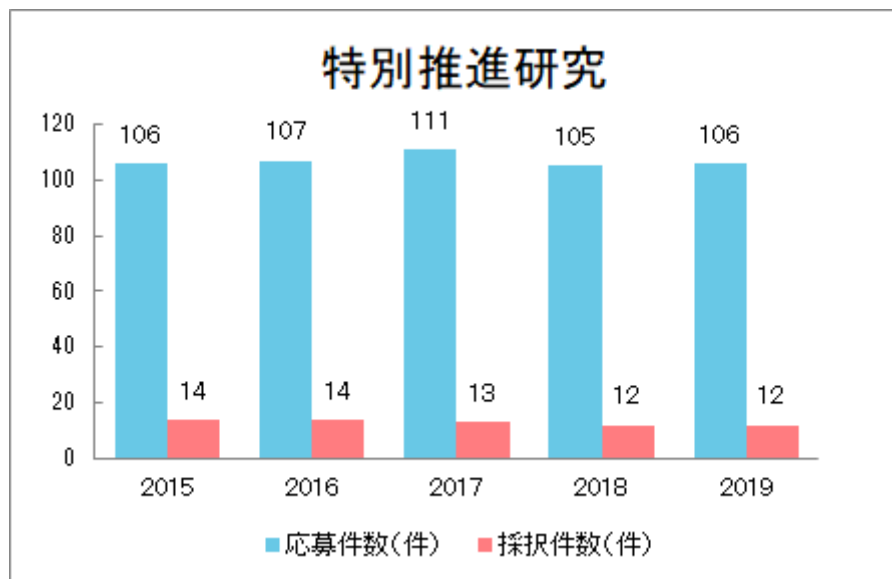
1. 全体のまとめ

(1) 研究種目ごとの審査結果(新規応募・採択状況)

①特別推進研究

応募件数は106件(前年度105件)、採択件数は12件(同12件)であった。

(参考)過去の推移



②基盤研究

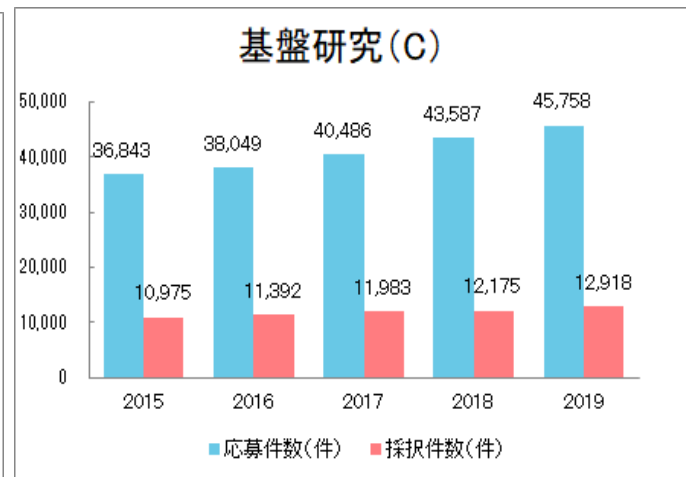
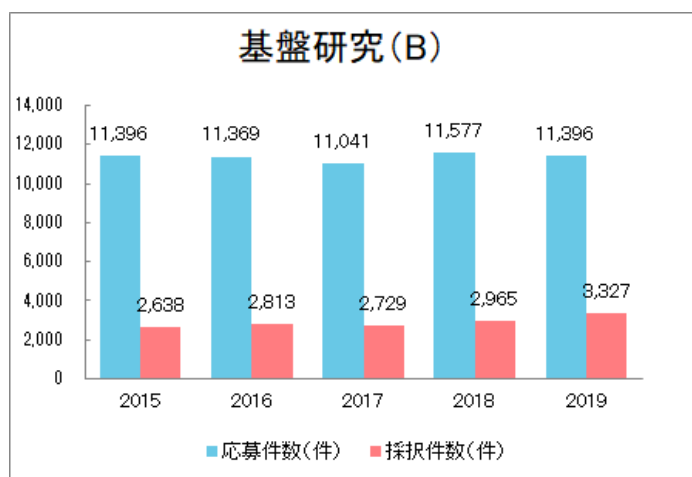
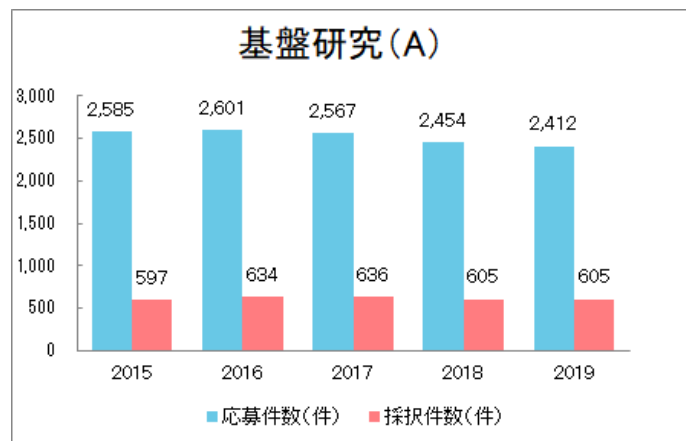
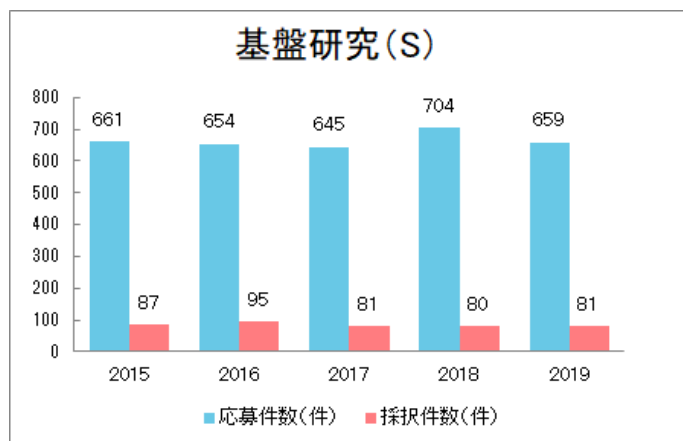
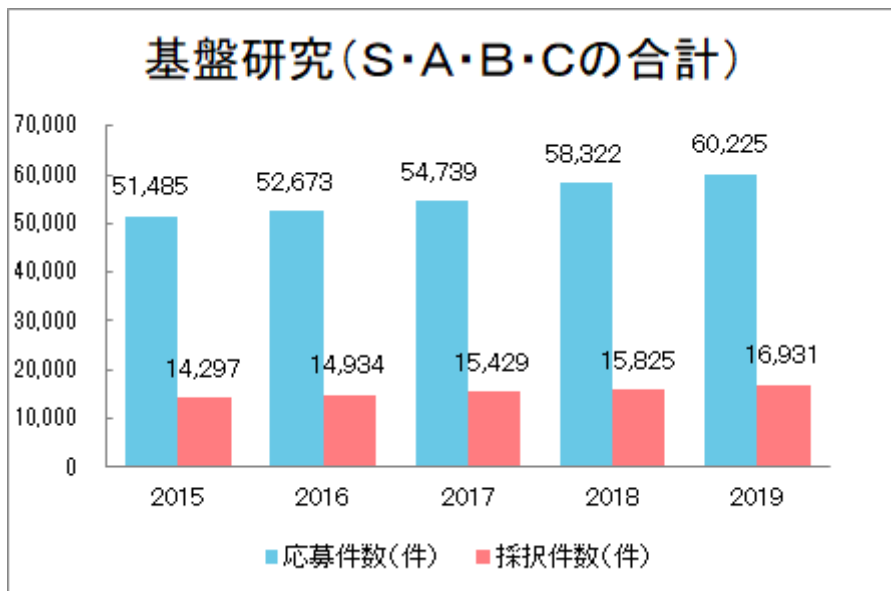
「基盤研究」全体での新規応募件数は60,225件(前年度58,322件)、採択件数は16,931件(同15,825件)であり、前年度より応募・採択件数ともに増加した。

基盤研究全体としては平成27(2015)年度から令和元(2019)年度までに応募件数が8,380件増加しているが、基盤研究(S・A・B)の応募件数には大きな変化はなく、増加分はほぼ基盤研究(C)の増加分(8,915

件)である。

また、各研究種目における応募件数について、基盤研究(S・A・B)はそれぞれ659件(前年度704件)、2,412件(同2,454件)、11,396件(同11,577件)であり、前年度より減少し、基盤研究(C)は45,758件(同43,587件)であり、前年度より増加した。

(参考)過去の推移



③基盤研究（B・C）（審査区分「特設分野研究」）

特設分野研究は、採択予定課題数を「分野ごとに30件以内」と設定した上で公募を行った。

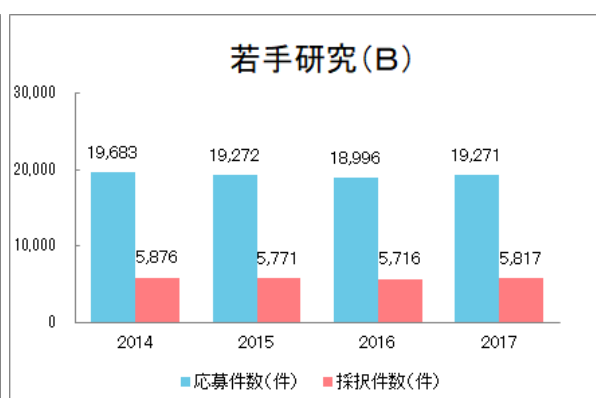
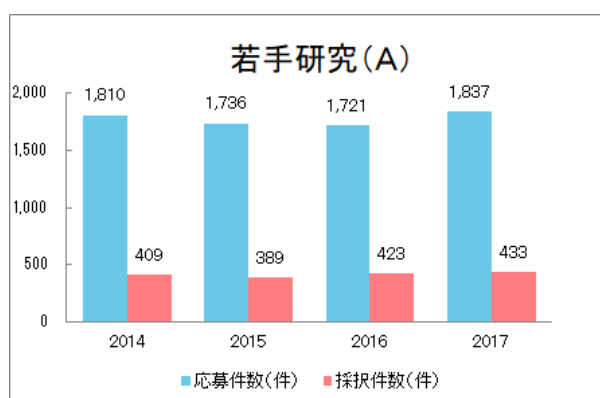
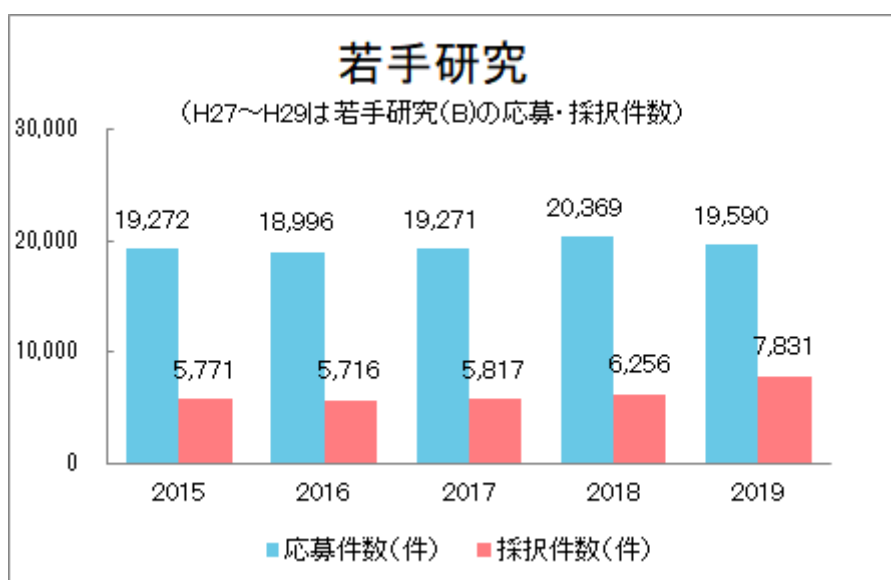
基盤研究（B・C）（特設分野研究）全体の新規応募件数は693件、採択件数は46件となり、特設分野ごとの新規応募件数、採択件数は下表のとおりであった。

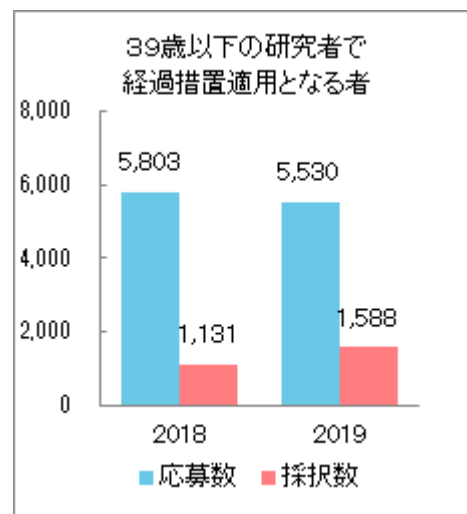
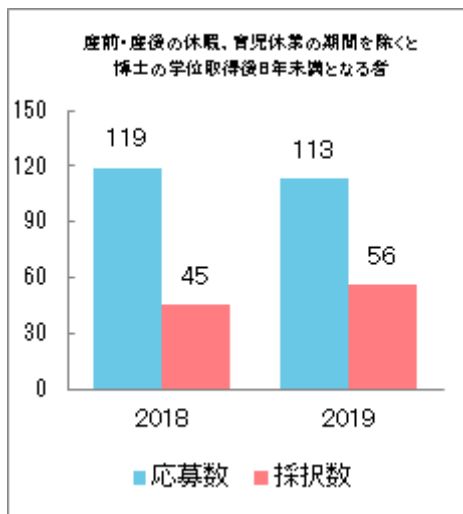
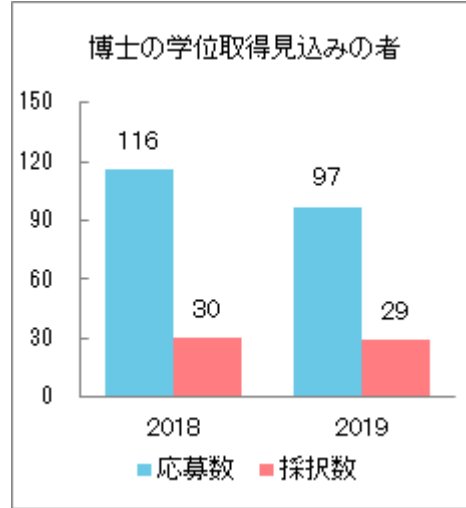
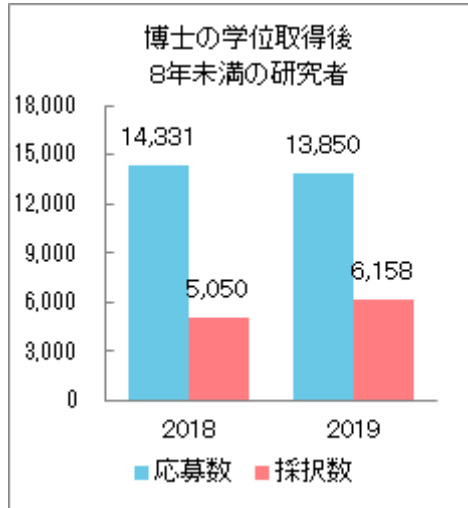
	オラリティと社会	次世代の農資源利用	情報社会におけるトラスト
応募件数	202件 （基盤（B） 73件 基盤（C） 129件）	370件 （基盤（B） 154件 基盤（C） 216件）	121件 （基盤（B） 43件 基盤（C） 78件）
採択件数	12件 （基盤（B） 4件 基盤（C） 8件）	26件 （基盤（B） 14件 基盤（C） 12件）	8件 （基盤（B） 4件 基盤（C） 4件）

④若手研究

「若手研究」全体での新規応募件数は19,590件（前年度20,369件）、採択件数は7,831件（同6,256件）であり、前年度より応募件数は減少したが採択件数は増加した。令和元(2019)年度応募課題より、採択数が大幅に増加しているのは、若手研究の予算が拡充されたことによる。今年度の応募に関して、平成31(2019)年4月1日までに博士の学位取得後8年未満の研究者による応募は13,850件、平成31(2019)年4月1日までに博士の学位を取得見込みの研究者による応募は97件、博士の学位取得後に取得した産前・産後の休暇、育児休業の期間を除くと博士の学位取得後8年未満となる研究者による応募は113件、39歳以下の博士の学位未取得の研究者で、経過措置の適用となる研究者による応募は5,530件であった。また、採択件数はそれぞれ6,158件、29件、56件、1,588件であった。

(参考) 過去の推移

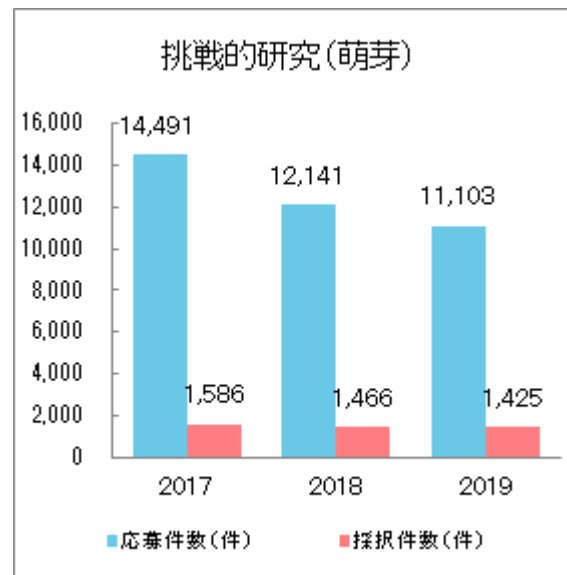
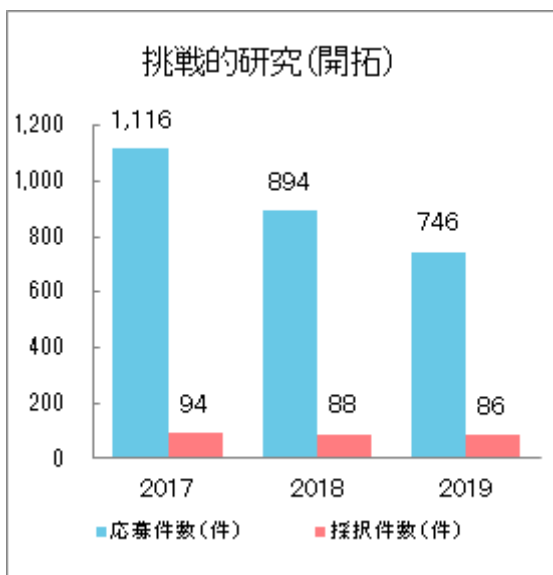




⑤挑戦的研究

新規応募件数は（開拓）が746件（前年度894件）、（萌芽）が11,103件（前年度12,141件）であり、採択件数はそれぞれ86件（前年度88件）、1,425件（前年度1,466件）であった。また本研究種目では予算の範囲で応募額を最大限尊重した配分を行った。

（参考）過去の推移



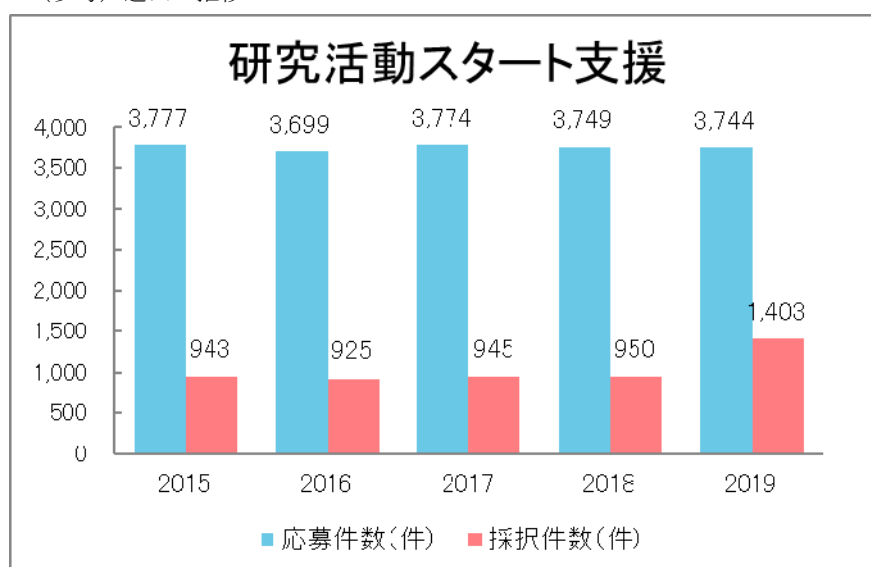
⑥研究活動スタート支援

本研究種目の応募資格は、A) 平成30(2018)年9月に公募を行った研究種目の応募締切日の翌日以降に応募資格を得たため、応募できなかった者及びB) 応募資格は得ていたが、産前産後の休暇又は育児休業を取得していたため、平成30(2018)年9月に公募を行った研究種目に応募できなかった者としている。

応募資格A) の新規応募件数は3,646件(前年度3,644件)、採択件数は1,368件(同919件)で、応募資格B) の新規応募件数は98件(前年度105件)、採択件数35件(同31件)となった。

上記を合計すると、平成31(2019)年度に応募件数は3,744件(前年度3,749件)、採択件数は1,403件(同950件)であった。

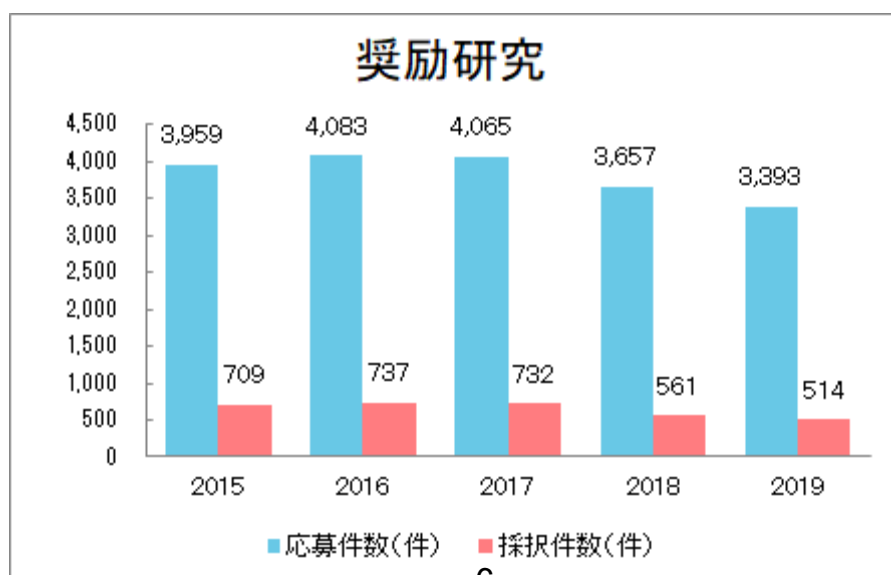
(参考) 過去の推移



⑦奨励研究

平成30(2018)年度から紙による応募方式から電子申請システムによる応募方式へと変更した。応募件数は3,393件(前年度3,657件)、採択件数は514件(同561件)であり、前年度より応募・採択件数とも減少している。

(参考) 過去の推移

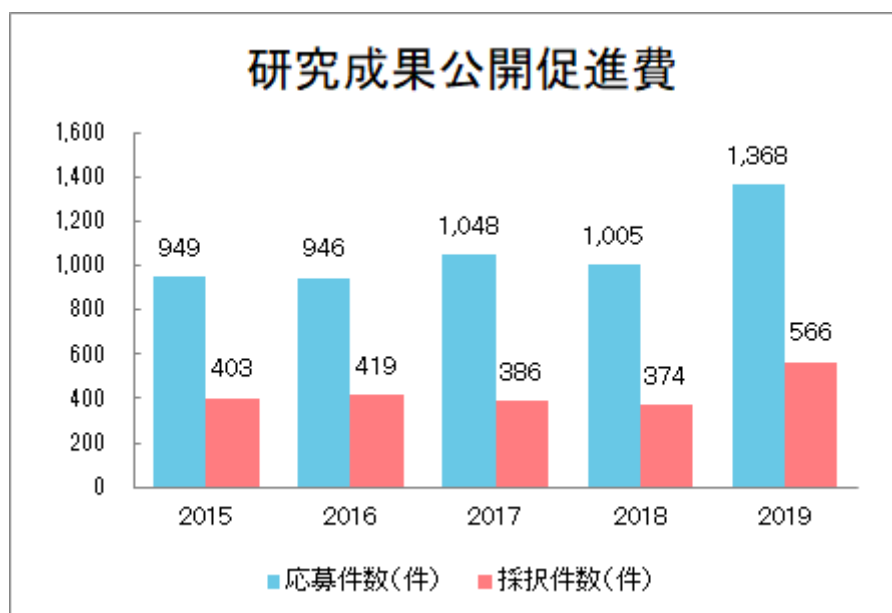


⑧研究成果公開促進費（研究成果公开发表、国際情報発信強化、学術図書、データベース）

令和元(2019)年度から、「ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI（以下「ひらめき☆ときめきサイエンス」という。）」を研究成果公開促進費として、公募と審査を行った。

「研究成果公開促進費」全体での応募件数は1,368件(前年度1,005件)、採択件数は566件(同374件)であった。なお、応募件数及び採択件数の内訳は、「研究成果公开发表」の応募件数86件(前年度89件)、採択件数33件(同44件)、「国際情報発信強化」の応募件数29件(前年度44件)、採択件数10件(同15件)、「学術図書」の応募件数716件(前年度747件)、採択件数252件(同271件)、「データベース」の応募件数107件(前年度125件)、採択件数37件(同44件)、「ひらめき☆ときめきサイエンス」の応募件数430件、採択件数234件であった。

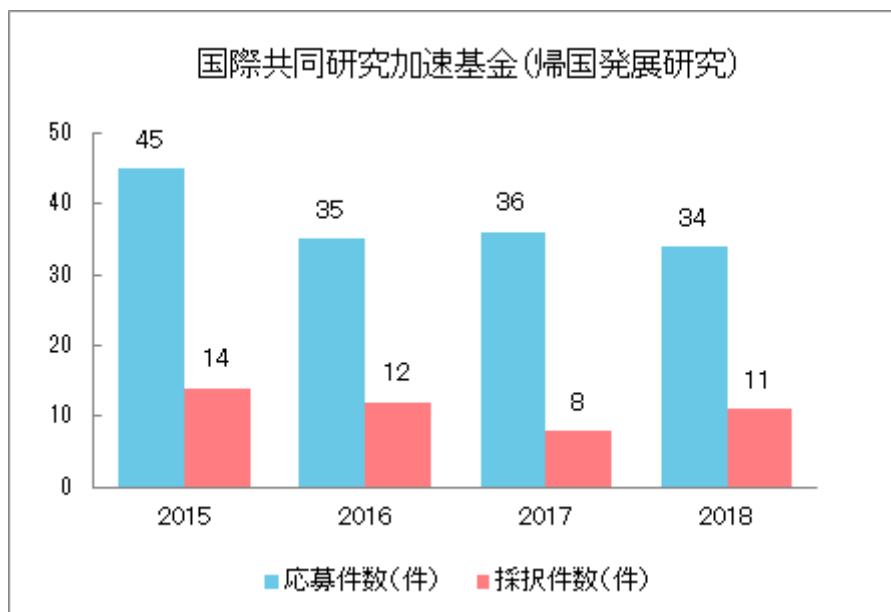
(参考) 過去の推移



⑨国際共同研究加速基金（帰国発展研究）

「国際共同研究加速基金（帰国発展研究）」の平成30（2018）年9月公募分の応募件数は34件（前年度36件）、採択件数は11件（同8件）であった。

（参考）過去の推移



(2) 主な制度改善等

① 科研費審査システム改革 2018 の着実な実施

平成30(2018)年度より、科研費審査システム改革2018に基づき、新たな審査区分、新たな審査方式の下で審査を行っている。

審査区分については、従来の「系・分野・分科・細目表」を廃止し、「小区分・中区分・大区分」で構成される「科学研究費助成事業 審査区分表」を適用（特別推進研究等の一部研究種目は除く。）した。

審査方式については、特別推進研究、基盤研究（S・A）、基盤研究（B・C）（応募区分「特設分野研究」）、挑戦的研究、国際共同研究加速基金（帰国発展研究）の審査は、書面審査を行った上で、同一の審査委員が合議審査を行う「総合審査」で審査を行った。さらに、特別推進研究、基盤研究（S）及び国際共同研究加速基金（帰国発展研究）については、専門分野が近い研究者が作成する審査意見書を、書面審査、合議審査で活用するとともに、特別推進研究及び基盤研究（S）ではヒアリング審査を行った。

基盤研究（B・C）（応募区分「一般」）、若手研究の審査は、書面審査委員が2段階にわたり書面審査を実施する「2段階書面審査」で審査を行った。

令和元(2019)年度からの変更点として、審査の際に審査委員が、researchmap 及び科学研究費助成事業データベース（KAKEN）の掲載情報を必要に応じて参照することとした。また、研究計画調書について、「研究業績」欄に必ずしも研究課題とは関係のない業績を連ねたりすることで、審議過程において応募、審査の本来の在り方を歪めかねない等の問題意識から、研究計画調書について、「研究代表者および研究分担者の研究業績」欄を「応募者の研究遂行能力および研究環境」欄に変更する等、様式の見直しを実施した。

見直しの結果、審査委員からは「リサーチマップとKAKENデータベースが審査システムから簡単に確認できるので、非常に参考になった。」「単なる業績リストの羅列から、文章で遂行能力を示す方法に変更したことにより、分野が遠くても非常に評価がしやすくなった。」といった意見があった一方で、「計画調書に業績を書いてはいけないと誤解し、全く業績を書いていない計画調書もあり、改善の主旨を応募者に丁寧に周知すべき。」との意見もあり、一定の改善の必要が認められた。

なお、令和2(2020)年度の調書では適切な研究業績を応募者が選択し記載することが可能である旨を明確にする改善が行われた。

主な研究種目における具体的な状況は以下のとおりであった。

<総合審査方式>

○ 特別推進研究、基盤研究（S）

ヒアリング審査の適正な運営の観点から、研究種目の趣旨・目的及び審査方法（審査の着目点、審査基準及びヒアリング審査時の留意事項等）

について、各小委員会の幹事への事前打ち合わせを充実させた。また、ヒアリングの対象となった研究課題に対し、ヒアリングの実施に先立って、必要に応じ、研究代表者に対して事前質問事項を提示する仕組みを導入し、審査の充実を図った（具体的には、研究計画調書の記載内容から十分に読み取れなかった事項や、説明が不十分であった事項を研究代表者に予め提示し、ヒアリング審査実施前にこれらの事項に対する回答を受け審査委員間で共有する方法）。これら審査方法の改善については、その有効性等を含めた検証を行った上で、今後、より適切な審査方法を検討していく必要がある。

○ 基盤研究（A）

審査会終了後、審査委員、学術システム研究センター研究員双方より、総合審査方式について、前年と同様相当数の肯定的な意見があった。主な意見としては、「書面審査での自分の判断を再考する機会があること、書面での得点だけでなく、合議の中で評価が共通理解の下でなされていくことは重要」、「審査の負担は大きいものの、合理的かつ公平な審査プロセスになっており、有意義であった」との意見があった。なお、更なる議論の深化に資するように、審査資料や合議審査の進め方などについて、今後とも改善に向けて検討していく必要がある。

基盤研究（A）について、従来、不採択となった研究課題について、審査結果の所見を開示しているが、新たに、採択された課題についても、審査結果の所見を研究代表者に開示することとした。また、採択された研究課題については、審査結果の所見の概要を科学研究費助成事業データベース（KAKEN）に公開した。

○ 挑戦的研究

総合審査については「同一人が書面審査を踏まえて合議を行うことによる研究課題に対する理解の深化」や、議論を行うことによる審査の質向上、多角的な審査の実現など、「合議の充実」等の観点から、非常に有意義であるとの肯定的な意見が多く寄せられた。

その一方で、挑戦的研究の趣旨については、新種目創設から3年を経過したが、いまだ十分に浸透していないのではないかとの指摘もあることから、今後も引き続きその趣旨の徹底に努めるとともに、合議審査の進め方等、より適切な審査方法を検討していく必要がある。

また、令和元(2019)年度からの変更点として、事前の選考では概要版のみ、書面審査及び合議審査では概要欄を除いた本体を用いて審査を行うことを、より明確に応募者に周知するため、研究計画調書の様式を2つに分けるとともに、様式中に留意事項を追記することとした。

< 2段階書面審査方式 >

○ 基盤研究（B・C）（応募区分「一般」）、若手研究

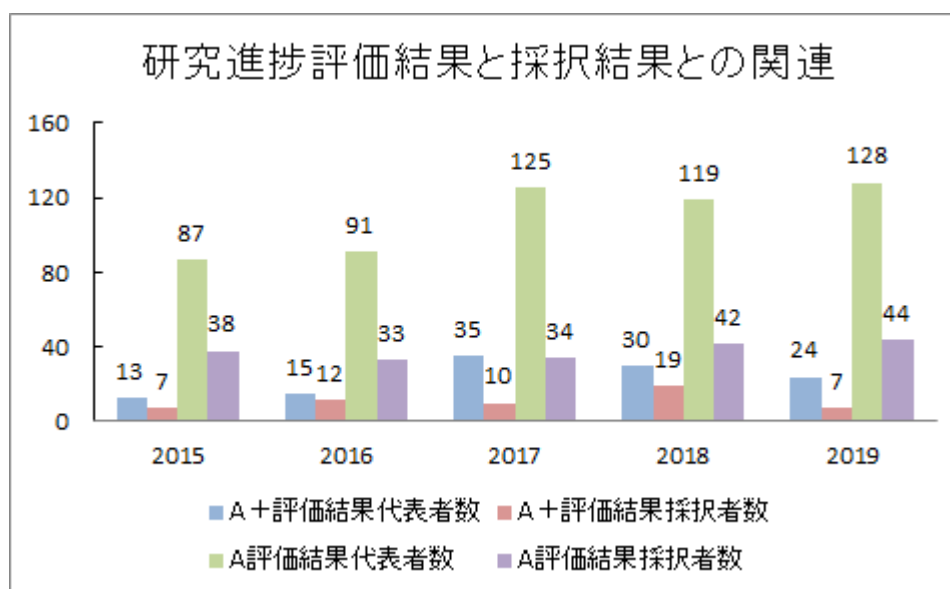
2段階書面審査のボーダーゾーンの評点状況について、1段階目の評点が高得点でも2段階目では低い評点を付しているケース（又はその逆）が見られるなど、2段階目で他の審査委員の評価結果（審査意見）を参考に再評価する仕組みが機能していると考えられる。

②研究進捗評価結果を次の審査に活かす仕組み

「特別推進研究」等の大型研究種目については、平成20（2008）年度から従来実施していた中間・事後評価を統一して「研究進捗評価」に改め、平成21（2009）年度からその評価結果を次の応募の際の研究計画に添付し、当該応募研究課題と進捗評価を受けた研究課題の関連性を審査の際に活用するなど、次の審査に活かす仕組みを導入し、優れた研究課題を継続して支援できるような審査を行っている。

今回の審査においては、平成29（2017）年度及び30（2018）年度の評価において「A+」（期待以上の成果が見込まれる）の評価を受けた研究課題の研究代表者のべ24名（前年度30名）のうち、7名（同19名）の研究課題が採択された。また、「A」（期待どおりの成果が見込まれる）の評価を受けた研究課題の研究代表者のべ128名（同119名）のうち、のべ44名（同42名）の研究課題が採択された。

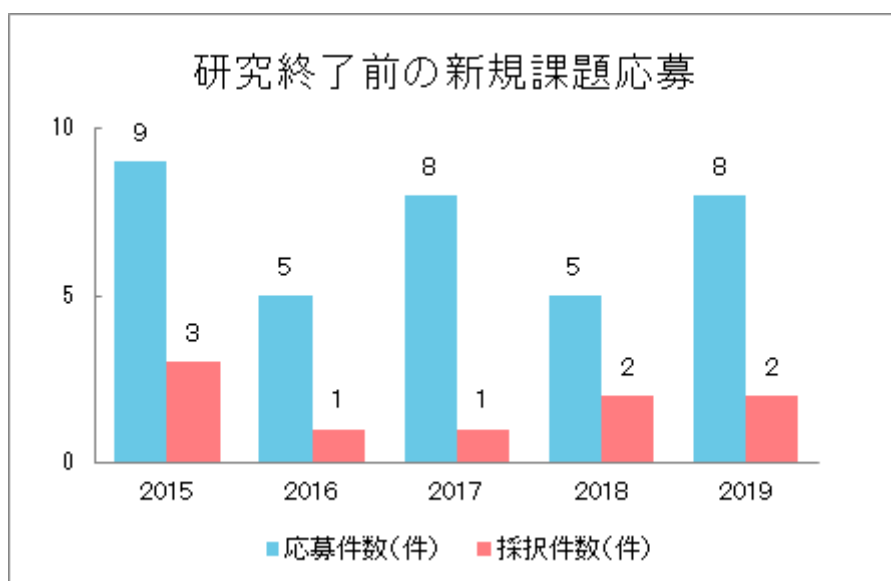
（参考）過去の推移



③研究が予想以上に進展した場合に研究期間終了前に新規課題を応募できる仕組み

平成21(2009)年度より、継続課題の早期完了を可能とする仕組みが導入され、研究が予想以上に進展した場合に研究期間終了前に新規課題を応募することが可能となった。令和元(2019)年度は同制度を用いて8件(前年度5件)の新規課題の応募があり、2件(同2件)の研究課題が採択された。採択された研究課題の内訳は、「基盤研究(B)」1件、「基盤研究(C)」1件であった。

(参考) 過去の推移



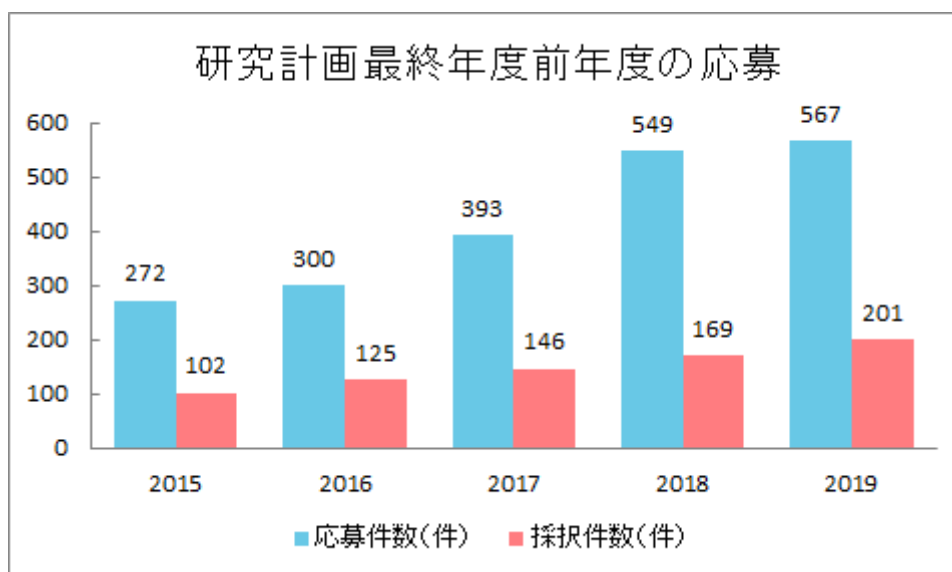
④研究計画最終年度前年度の応募

研究計画最終年度前年度の応募について、応募件数は567件(前年度549件)、採択件数は201件(同169件)であった。

「若手研究」から「基盤研究」への研究計画の移行が円滑に図られるように、平成22(2010)年度から4年以上の研究期間の課題を対象として「若手研究」を基にした研究計画最終年度前年度の応募を導入しているが、平成30(2018)年度より基盤研究(S・A・B)(応募区分「一般」)への応募に限り、継続中の研究課題のうち、3年間の研究計画であっても最終年度前年度の応募を可能とした。令和元(2019)年度において、若手研究(A)を基に70件(前年度62件)、若手研究(B)を基に120件(同153件)の応募があった。それぞれ29件(同24件)、37件(同32件)が採択された。このうち、基となる研究課題の研究計画が3年である応募件数は、若手研究(A)を基に25件、若手研究(B)を基に71件であり、それぞれ11件、14件が採択された。

研究費が途切れる心配を少なくし、優れた研究課題が安定して研究できることを目指す研究計画最終年度前年度の応募の仕組みが一定の効果を得ていると考える。

(参考) 過去の推移



次に、応募書類の受付から審査の状況、審査結果の概要等をまとめる。

2. 応募書類の受付

応募書類について、研究種目毎に次のとおり受付を行った。

(1) 特別推進研究、基盤研究、若手研究、挑戦的研究、国際共同研究加速基金 (帰国発展研究)

「電子申請システム」を活用して、平成30(2018)年11月7日を研究計画調書の提出(送信)期限として受付を行った。

(2) 研究成果公開促進費(研究成果公開発表、国際情報発信強化、学術図書、データベース)

研究成果公開発表(研究成果公開発表(B)のうち、「ひらめき☆ときめきサイエンス」を除く)、国際情報発信強化、学術図書、データベースについては、「電子申請システム」を活用して、平成30(2018)年11月7日を計画調書の提出(送信)期限として受付を行った。

ただし、学術図書の「完成した原稿等の写し」及び国際情報発信強化の「最新刊行物等」については、平成30(2018)年11月7日～11月12日を受付期間として、送付により、受付を行った。

「ひらめき☆ときめきサイエンス」については、平成31(2019)年2月21日を計画調書の提出(送信)期限として、電磁的方法により、受付を行った。

(3) 奨励研究

「電子申請システム」を活用し、平成30(2018)年11月7日を研究計画調書の提出(送信)期限として受付を行った。

(4) 研究活動スタート支援

「電子申請システム」を活用して、令和元(2019)年5月15日を研究計画調書の提出(送信)期限として受付を行った。

3. 審査について

「科学研究費助成事業における審査及び評価に関する規程」に基づき、科学研究費委員会(別紙1)における研究種目毎の次の小委員会等において、6,840名の審査委員により審査を実施した。

なお、5月以降に合議審査を実施した「基盤研究(応募区分「特設分野研究」)」の審査委員数26名、「挑戦的研究」の審査委員数611名、「研究活動スタート支援」の審査委員260名を加えた審査委員の総数は、7,737名(前年度6,879名)となる。審査委員数の増加は、令和元(2019)年度の審査より、基盤研究(S・A)については一小委員会で合議審査を行う件数の上限を60件から50件に低減し、基盤研究(B・C)、若手研究、研究活動スタート支援、奨励研究については一小委員会で審査を行う上限を150件から100件に低減したために、結果として分割する小委員会が増加したことによる。

「ひらめき☆ときめきサイエンス」の審査については、「科学研究費助成事業(研究成果公開促進費(研究成果公開発表(B)(ひらめき☆ときめきサイエンス~ようこそ大学の研究室へ~KAKENHI))」審査要項」に基づき、独立行政法人日本学術振興会研究成果の社会還元・普及委員会(以下「研究成果の社会還元・普及委員会」)において、21名の審査委員により実施した。

(1) 特別推進研究

審査組織	審査・評価第一部会に置かれる専門分野毎の3小委員会(審査委員数26名(以下同じ。))及び運営小委員会(8名)	
審査方法	・審査方式:総合審査(書面審査及び合議審査) ・審査区分:「人文社会系」、「理工系」及び「生物系」(審査委員8名~14名) ・審査意見書(応募研究課題と専門分野に近い国内及び海外の研究者各3名程度が作成)も活用し、書面審査及びヒアリング対象課題を選定する合議審査を実施 ・ヒアリング審査等により採択研究課題を決定	
審査等の経過	平成30(2018)年12月12日~ 平成31(2019)年1月11日	審査意見書作成者(612名)が 審査意見書を作成

	平成31(2019)年1月18日～2月22日	書面審査
	平成31(2019)年2月22日～3月1日	合議審査（ヒアリング研究課題の選定）
	平成31(2019)年3月18日～3月28日	ヒアリング審査（採択候補研究課題の選定）
	平成31(2019)年4月12日	運営小委員会（各小委員会の審査結果を踏まえ、採択研究課題を決定）

(2) 基盤研究（S）

審査組織	審査・評価第二部会に置かれる専門分野毎の20小委員会（120名）及び運営小委員会（22名）	
審査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・審査方式：総合審査（書面審査及び合議審査） ・審査区分：大区分（審査委員 6名～18名） ・審査意見書（応募研究課題と専門分野が近い国内の研究者3名が作成）も活用し、書面審査及びヒアリング対象課題を選定する合議審査を実施 ・ヒアリング審査等により採択研究課題を決定 	
審査等の経過	平成30(2018)年12月14日～平成31(2019)年1月15日	審査意見書作成者（1,977名）が審査意見書を作成
	平成31(2019)年1月22日～3月5日	書面審査
	平成31(2019)年3月18日～4月12日	合議審査（ヒアリング研究課題の選定）
	令和元(2019)年5月7日～5月31日	ヒアリング審査（採択候補研究課題の選定）
	令和元(2019)年6月11日	運営小委員会（各小委員会の審査結果を踏まえ、採択研究課題を決定）

(3) 基盤研究 (A)

審査組織	審査第一部会に置かれる専門分野毎の 81 小委員会 (514 名)	
審査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審査方式：総合審査 (書面審査及び合議審査) ・ 審査区分：中区分 (審査委員 6 名～8 名) ・ 書面審査及び合議審査を行い、採択研究課題を決定 	
審査の経過	平成 30 (2018) 年 12 月 11 日～平成 31 (2019) 年 1 月 15 日	書面審査
	平成 31 (2019) 年 2 月 4 日～3 月 8 日	合議審査を実施 (採択研究課題を決定)

(4) 挑戦的研究

審査組織	挑戦的研究部会に置かれる専門分野毎の 91 小委員会 (611 名)	
審査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審査方式：総合審査 (書面審査及び合議審査) ・ 審査区分：中区分 及び 特設審査領域 ・ 事前の選考 [各小委員会に属する審査委員 (6～8 名) のうち 3 名が研究計画調書 (概要版) を用いて採択候補研究課題を絞り込む。(応募件数が少ない場合は事前の選考は実施しない。)] ・ 審査委員全員が研究計画調書を用いて書面審査 ・ 合議審査により採択研究課題を決定 	
審査の経過	平成 30 (2018) 年 12 月 11 日～平成 31 (2019) 年 1 月 17 日 (特設審査領域については平成 31 (2019) 年 2 月 1 日～2 月 22 日)	事前の選考 (合議審査対象課題の選定)
	平成 31 (2019) 年 3 月 1 日～4 月 2 日 (令和元 (2019) 年 5 月 20 日 (月) 以降開催の小委員会については平成 31 (2019) 年 3 月 1 日～4 月 12 日、 特設審査領域については平成 31 (2019) 年 4 月 1 日～令和元 (2019) 年 5 月 10 日)	書面審査

	令和元(2019)年5月7日～6月4日	合議審査(採択研究課題の決定)
--	---------------------	-----------------

(5) 基盤研究(B) (「特設分野研究」を除く)

審査組織	審査第二部会に置かれる専門分野毎の311小委員会(1,870名)	
審査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・審査方式:二段階書面審査 ・審査区分:小区分(審査委員6名) ・2段階にわたり書面審査を行い、採択研究課題を決定 	
審査の経過	平成30(2018)年12月11日～平成31(2019)年1月23日	1段階目の書面審査
	平成31(2019)年2月8日～2月22日	2段階目の書面審査(採択研究課題を決定)

(6) 基盤研究(C) (「特設分野研究」を除く)

審査組織	審査第三部会に置かれる専門分野毎の617小委員会(2,488名)	
審査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・審査方式:二段階書面審査 ・審査区分:小区分(審査委員4名) ・2段階にわたり書面審査を行い、採択研究課題を決定 	
審査の経過	平成30(2018)年12月11日～平成31(2019)年1月23日	1段階目の書面審査
	平成31(2019)年2月8日～2月22日	2段階目の書面審査(採択研究課題を決定)

(7) 基盤研究(B・C)「特設分野研究」

審査組織	特設分野研究部会に置かれる専門分野毎の3小委員会(26名)	
審査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・審査方式:総合審査(書面審査及び合議審査) ・審査区分:特設分野研究 ・事前の選考[各小委員会に属する審査委員(8～10名)のうち3名又は4名が研究計画調書(概要版)を用いて採択候補研究課題を絞り込む。(応募件数が少ない場合は事前の選考は実施しない。)] ・審査委員全員が研究計画調書を用いて書面審査 ・合議審査により採択研究課題を決定 	

審査の経過	平成31(2019)年2月1日 ～2月22日	事前の選考(合議審査対象課題の 選定)
	平成31(2019)年4月1日 ～令和元(2019)年5月10 日	書面審査
	令和元(2019)年6月6日～ 6月20日	合議審査(採択研究課題を決定)

(8) 若手研究

審査組織	審査第四部会に置かれる専門分野毎の388小委員会(1,558名)	
審査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・審査方式:二段階書面審査 ・審査区分:小区分(審査委員4名) ・2段階にわたり書面審査を行い、採択研究課題を決定 	
審査の経過	平成30(2018)年12月11 日～平成31(2019)年1月2 3日	1段階目の書面審査
	平成31(2019)年2月8日～ 2月22日	2段階目の書面審査(採択研究 課題を決定)

(9) 研究活動スタート支援

審査組織	審査第五部会に置かれる専門分野毎の65小委員会(260名)	
審査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・審査方式:二段階書面審査 ・審査区分:「研究活動スタート支援 審査区分」(審査委員4名) ・2段階にわたり書面審査を行い、採択研究課題を決定 	
審査の経過	令和元(2019)年6月13日～ 7月11日	1段階目書面審査
	令和元(2019)年7月26日～ 8月7日	2段階目の書面審査(採択研究 課題を決定)

(10) 奨励研究

審査組織	奨励研究部会に置かれる専門分野毎の58小委員会(174名)	
審査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・審査方式:二段階書面審査 ・審査区分:「奨励研究 審査区分表」(審査委員3名) 	

	・ 2段階にわたり書面審査を行い、採択研究課題を決定	
審査の経過	平成30(2018)年12月11日～平成31(2019)年1月23日	1段階目の書面審査
	平成31(2019)年2月8日～2月22日	2段階目の書面審査(採択研究課題を決定)

(11) 国際共同研究加速基金(帰国発展研究)

審査組織	審査・評価第一部会に置かれる専門分野毎の3小委員会(26名)及び運営小委員会(8名)	
審査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 審査方式: 総合審査(書面審査及び合議審査) ・ 審査区分: 「人文社会系」、「理工系」及び「生物系」(審査委員8名～14名) ・ 審査意見書(審査意見書作成者、国内の研究機関に所属する応募研究課題と専門分野に近い研究者3名が作成)も活用し、書面審査及び合議審査を行い採択課題を決定 	
審査の経過	平成30(2018)年12月12日～平成31(2019)年1月11日	審査意見書作成者(102名)が審査意見書を作成
	平成31(2019)年1月18日～2月22日	書面審査
	平成31(2019)年2月22日～3月1日	合議審査(採択研究課題を決定)

(12) 研究成果公開促進費

①研究成果公开发表(研究成果公开发表(B)のうち、「ひらめき☆ときめきサイエンス」を除く)、国際情報発信強化、学術図書、データベース

審査組織	成果公開部会に置かれる5小委員会(80名)及び運営小委員会(6名)		
審査方法	① 国際情報発信強化	〔国際情報発信強化(A)・オープンアクセス刊行支援〕	・ 国際情報発信強化小委員会に属する15名(編集長等経験者9名及び刊行業務等担当者6名)の審査委員が書面審査を

			<p>実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小委員会において合議審査により採択課題を決定
		〔国際情報発信強化（B）〕	<ul style="list-style-type: none"> ・国際情報発信強化小委員会に属する6名～12名（審査を希望する審査区分の編集長等経験者3名（2区分にまたがる場合は6名、3区分にまたがる場合は9名）及び刊行業務担当者3名）の関連審査委員が書面審査を実施 ・小委員会において合議審査により採択課題を決定
	② 研究成果公開発表（研究成果公開発表（B）のうち、「ひらめき☆ときめきサイエンス」を除く）、学術図書、データベース		<ul style="list-style-type: none"> ・各小委員会に属する3名の関連審査委員が書面審査を実施 ・各小委員会において合議審査により採択課題を決定
審査の経過	① 国際情報発信強化	平成30 (2018)年1 2月17日 ～平成31 (2019)年1 月16日	書面審査
		平成31 (2019)年1 月31日及 び平成31 (2019)年2 月27日	合議審査（採択課題を決定）

② 研究成果公開發表（研究成果公開發表（B）のうち、「ひらめき☆ときめきサイエンス」を除く）、 学術図書、データベース	平成30 (2018)年1 2月5日～ 平成31 (2019)年1 月11日	書面審査
	平成31 (2019)年2 月4日～平 成31 (2019)年3 月12日	合議審査（採択課題を決定）

②研究成果公開發表（B）のうち、「ひらめき☆ときめきサイエンス」

審査組織	研究成果の社会還元・普及委員会（21名）	
審査方法	<ul style="list-style-type: none"> ・21名の審査委員が書面審査を実施 ・合議審査により採択課題を決定 	
審査の経過	平成31(2019)年2月28日 ～3月22日	書面審査
	平成31(2019)年4月9日	合議審査（採択候補課題を決定）
	平成31(2019)年4月15日	・研究成果の社会還元・普及委員会において採択課題を決定

4. 応募・採択等の状況

- (1) 令和元(2019)年度科研費助成事業の審査結果（研究種目別の応募・採択等の状況）（別紙2）
- (2) 研究機関種別の応募・採択等の状況（別紙3）
- (3) 職種別の応募・採択等の状況（別紙4）
- (4) 男女別の応募・採択等の状況（別紙5）

(5) 年齢別の応募・採択等の状況（別紙6）

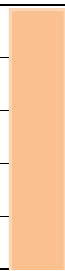
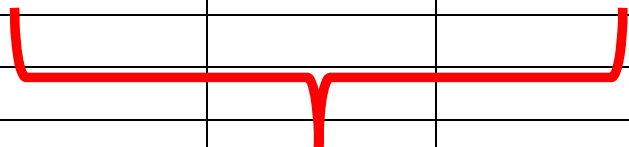
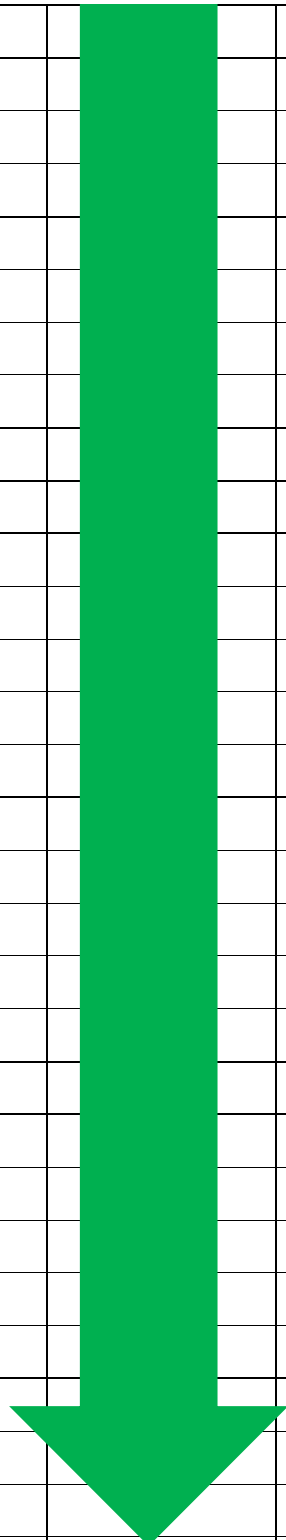
注1）(2)～(5)に記載の配分額は直接経費の配分額を指す。

注2）(2)～(5)について、科研費の審査（ピアレビュー）に当たっては研究者の属性等を考慮した審査は行っていないが、審査結果の参考として集計したもの。

2019年度公募 審査スケジュール（基盤研究（A・B・C）、若手研究）

		基盤(A)	基盤(B)	基盤(C)	若手
		81小委員会	311小委員会	617小委員会	388小委員会
12月		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 12月11日～1月15日 書面審査 </div>			
1月			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 12月11日～1月23日 書面審査(1段階目) </div>		
2/1	金	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 2月4日～3月8日 合議審査 </div>			
2	土				
3	日				
4	月	<div style="border-left: 2px solid orange; border-right: 2px solid orange; height: 100%; position: relative;"> ↑ ↓ </div>	第7小委員会Ⅱ(7)		
			第25小委員会(6)		
			第36小委員会(6)		
			第42小委員会(6)		
5	火		第27小委員会(6)		
			第37小委員会(6)		
			第48小委員会(6)		
			第53小委員会(6)		
6	水		第54小委員会(6)		
7	木		第15小委員会Ⅰ(6)		
			第46小委員会(6)		
		第56小委員会(7)			
		第58小委員会(8)			
8	金	第35小委員会(6)			
		第49小委員会(7)			
		第57小委員会(8)			
		第61小委員会Ⅰ(8)			
9	土				
10	日				
11	月				
12	火	第7小委員会Ⅰ(8)			
		第28小委員会Ⅱ(6)			
		第44小委員会(6)			

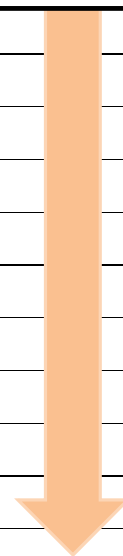
13	水				
14	木	第26小委員会 I (6)			
		第52小委員会(6)			
		第55小委員会(6)			
15	金	第11小委員会(6)			
		第23小委員会(6)			
		第47小委員会(6)			
		第60小委員会 II (8)			
16	土				
17	日				
18	月	第4小委員会(6)			
		第17小委員会 II (6)			
		第39小委員会(7)			
		第43小委員会 I (6)			
		第90小委員会 II (6)			
19	火	第1小委員会(8)			
		第3小委員会 I (7)			
		第6小委員会(6)			
		第13小委員会 II (6)			
		第32小委員会(6)			
20	水				
21	木	第5小委員会(7)			
		第9小委員会(8)			
		第12小委員会(6)			
		第13小委員会 I (6)			
		第60小委員会 I (8)			
22	金	第10小委員会(6)			
		第16小委員会(6)			
		第62小委員会(6)			
		第90小委員会 I (6)			
23	土				
24	日				
25	月				
26	火				
27	水	第2小委員会(8)			
		第21小委員会 I (6)			
		第22小委員会 II (6)			
		第31小委員会(6)			
		第40小委員会(6)			



28	木	第20小委員会(6)			
		第21小委員会Ⅱ(6)			
		第21小委員会Ⅲ(6)			
		第43小委員会Ⅱ(6)			
		第61小委員会Ⅱ(8)			
3/1	金	第14小委員会(6)			
		第17小委員会Ⅰ(6)			
		第19小委員会(6)			
		第45小委員会(6)			
2	土				
3	日				
4	月	第8小委員会(6)			
		第26小委員会Ⅱ(6)			
		第34小委員会(6)			
		第41小委員会(6)			
5	火	第17小委員会Ⅲ(6)			
		第33小委員会(6)			
		第63小委員会Ⅰ(6)			
		第63小委員会Ⅱ(6)			
		第64小委員会(6)			
6	水	第15小委員会Ⅱ(6)			
		第28小委員会Ⅰ(6)			
		第30小委員会(6)			
		第51小委員会(6)			
7	木	第3小委員会Ⅱ(6)			
		第38小委員会(6)			
		第50小委員会(6)			
		第59小委員会(6)			
8	金	第18小委員会(6)			
		第24小委員会(6)			
応募件数		2,412件	11,396件	45,758件	19,590件
審査委員数		514名	1,870名	2,488名	1,558名

4月1日(月)交付内定に
向けた作業

- ・審査結果の確認、取り纏め
- ・交付内定通知作成
- ・各大学等への発送準備



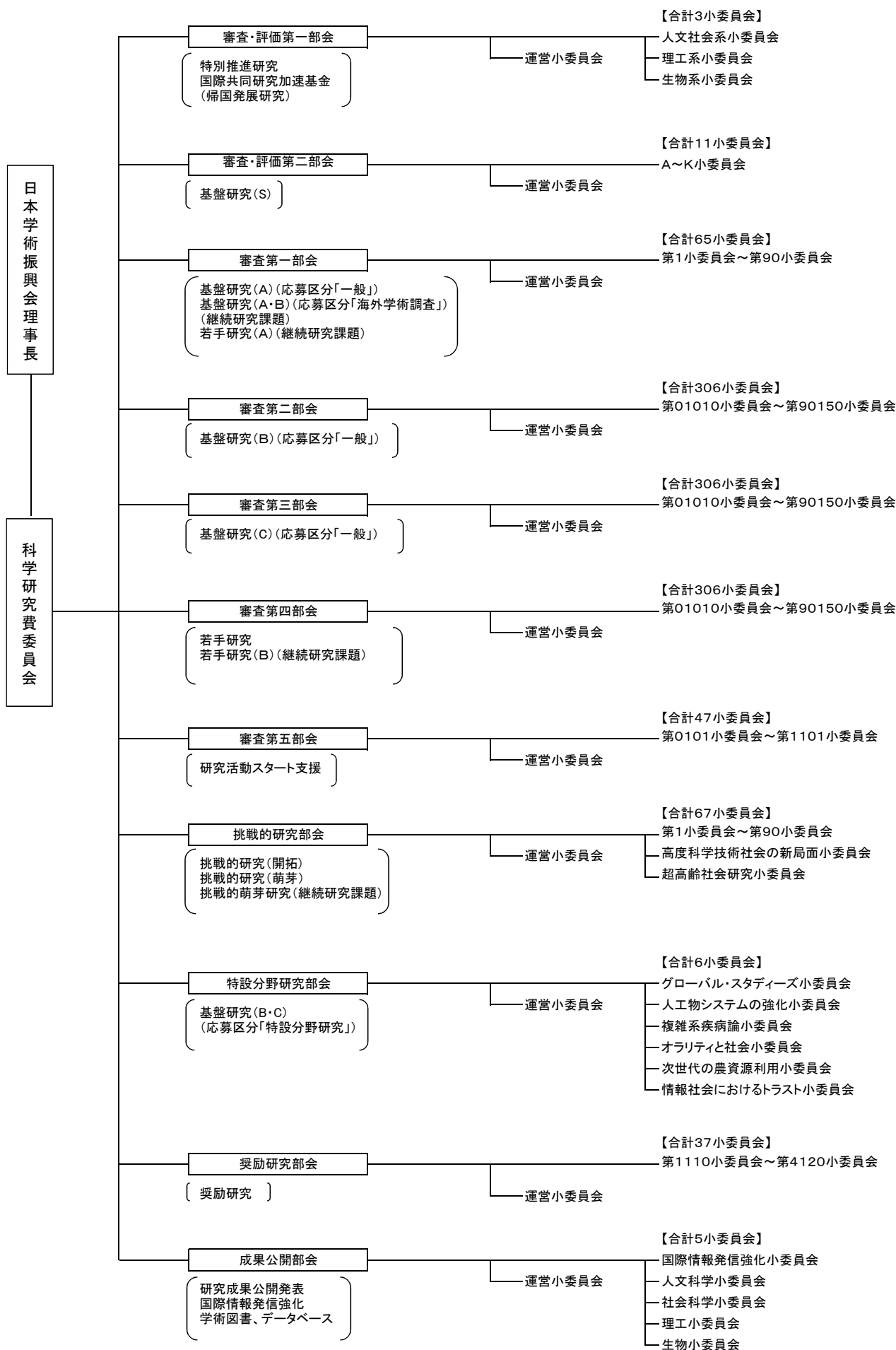
※ () 内の数字は審査委員数を示している。

※小委員会名の数字は、中区分を示している。

審査区分表：https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/02_koubo/shinsakubun.html

科学研究費委員会組織図

【小委員会合計: 1, 159小委員会(分割は含まない)】



令和元(2019)年度科学研究費助成事業の審査結果

(1) 新規採択分

令和元(2019)年9月現在

研究種目	研究課題数			研究経費 配分額	1課題当たりの配分額	
	応募	採択	採択率		平均	最高
科学研究費	〔 99,237 〕 98,907	〔 25,158 〕 28,202	〔 25.4 〕 28.5	〔 55,432,746 〕 59,566,670 〔 17,794,380 〕	〔 2,203 〕 2,112	〔 145,100 〕 150,900
(1)特別推進研究	〔 105 〕 106	〔 12 〕 12	〔 11.4 〕 11.3	〔 1,123,500 〕 1,123,000 〔 336,900 〕	〔 93,625 〕 93,583	〔 145,100 〕 150,900
(2)基盤研究(S)	〔 704 〕 659	〔 80 〕 81	〔 11.4 〕 12.3	〔 3,279,800 〕 3,114,800 〔 934,440 〕	〔 40,998 〕 38,454	〔 105,100 〕 91,600
(3)基盤研究(A)	〔 2,454 〕 2,412	〔 605 〕 605	〔 24.7 〕 25.1	〔 7,310,100 〕 7,116,900 〔 2,135,070 〕	〔 12,083 〕 11,763	〔 32,900 〕 35,000
(4)基盤研究(B)	〔 11,577 〕 11,396	〔 2,965 〕 3,327	〔 25.6 〕 29.2	〔 15,170,200 〕 16,862,200 〔 5,058,660 〕	〔 5,116 〕 5,068	〔 12,800 〕 13,400
(5)基盤研究(C)	〔 43,587 〕 45,758	〔 12,175 〕 12,918	〔 27.9 〕 28.2	〔 15,004,500 〕 15,632,800 〔 4,689,840 〕	〔 1,232 〕 1,210	〔 3,200 〕 3,100
(6)挑戦的研究(開拓)	〔 894 〕 746	〔 88 〕 86	〔 9.8 〕 11.5	〔 635,800 〕 592,200 〔 177,660 〕	〔 7,225 〕 6,886	〔 17,500 〕 17,500
(7)挑戦的研究(萌芽)	〔 12,141 〕 11,103	〔 1,466 〕 1,425	〔 12.1 〕 12.8	〔 3,327,100 〕 3,323,100 〔 996,930 〕	〔 2,270 〕 2,332	〔 4,500 〕 4,800
(8)若手研究	〔 20,369 〕 19,590	〔 6,256 〕 7,831	〔 30.7 〕 40.0	〔 8,273,100 〕 10,130,700 〔 3,039,210 〕	〔 1,322 〕 1,294	〔 3,100 〕 3,200
(9)研究活動スタート支援	〔 3,749 〕 3,744	〔 950 〕 1,403	〔 25.3 〕 37.5	〔 1,040,600 〕 1,418,900 〔 425,670 〕	〔 1,095 〕 1,011	〔 1,200 〕 1,100
(10)奨励研究	〔 3,657 〕 3,393	〔 561 〕 514	〔 15.3 〕 15.1	〔 268,046 〕 252,070	〔 478 〕 490	〔 580 〕 580
研究成果公開促進費	〔 1,005 〕 1,368	〔 374 〕 566	〔 37.2 〕 41.4	〔 737,100 〕 720,630	〔 1,971 〕 1,273	〔 35,300 〕 9,200
研究成果公開發表	〔 89 〕 86	〔 44 〕 33	〔 49.4 〕 38.4	〔 71,500 〕 49,700	〔 1,625 〕 1,506	〔 9,000 〕 7,900
ひらめき☆ときめきサイエンス※2	〔 - 〕 430	〔 - 〕 234	〔 - 〕 54.4	〔 - 〕 99,830	〔 - 〕 427	〔 - 〕 500
国際情報発信強化	〔 44 〕 29	〔 15 〕 10	〔 34.1 〕 34.5	〔 100,000 〕 43,800	〔 6,667 〕 4,380	〔 35,300 〕 9,200
学術図書	〔 747 〕 716	〔 271 〕 252	〔 36.3 〕 35.2	〔 429,900 〕 413,500	〔 1,586 〕 1,641	〔 7,800 〕 8,900
データベース	〔 125 〕 107	〔 44 〕 37	〔 35.2 〕 34.6	〔 135,700 〕 113,800	〔 3,084 〕 3,076	〔 8,100 〕 7,100
合計	〔 100,242 〕 100,275	〔 25,532 〕 28,768	〔 25.5 〕 28.7	〔 56,169,846 〕 〔 16,549,410 〕 60,287,300 〔 17,794,380 〕	〔 2,200 〕 2,096	〔 145,100 〕 150,900

(注1) 上段〔 〕内は前年度、下段【 】は間接経費(外数)を示す。

(注2) 基盤研究(C)、挑戦的研究(萌芽)、若手研究、研究活動スタート支援については、基金科目であるため、「配分額」欄及び「1課題当たりの配分額」欄には、令和元(2019)年度の当初計画に対する配分額を計上。

(注3) 「特別研究員奨励費」、基盤研究(B・C)「特設分野研究」、「新学術領域研究(研究領域提案型)」は含まない。

なお、基盤研究(B・C)「特設分野研究」の令和元(2019)年度新規分の応募・採択状況は、応募数(693件)、採択数(46件)、配分額(直接経費 145,700千円、間接経費 43,710千円)であった。

(注4) ※2は、令和元(2019)年度から研究成果公開促進費として実施したため、令和元(2019)年度のみ計上。

令和元(2019)年度科学研究費助成事業の審査結果

(2) 新規採択分＋継続分

令和元(2019)年9月現在

研究種目	研究課題数			研究経費 配分額	1課題当たりの配分額	
	応募	採択	採択率		平均	最高
	件	件	%	千円	千円	千円
科学研究費	[147,233] 147,088	[72,874] 76,162	[49.5] 51.8	[140,926,876] 143,202,132 [42,884,129]	[1,934] 1,880	[162,400] 178,200
(1)特別推進研究	[160] 158	[67] 64	[41.9] 40.5	[5,447,500] 5,168,000 [1,550,400]	[81,306] 80,750	[162,400] 178,200
(2)基盤研究(S)	[1,045] 988	[421] 410	[40.3] 41.5	[12,075,400] 11,475,800 [3,442,740]	[28,683] 27,990	[105,100] 91,600
(3)基盤研究(A)	[4,063] 4,046	[2,202] 2,229	[54.2] 55.1	[18,879,700] 18,913,260 [5,673,978]	[8,574] 8,485	[32,900] 35,000
(4)基盤研究(B) ※1	[18,059] 18,113	[9,402] 9,984	[52.1] 55.1	[35,319,050] 37,580,338 [11,274,101]	[3,757] 3,764	[12,800] 13,400
(5)基盤研究(C)	[68,725] 71,470	[37,267] 38,630	[54.2] 54.1	[38,324,100] 38,515,400 [11,554,620]	[1,028] 997	[3,200] 3,100
(6)挑戦的萌芽研究	[1,472] 7	[1,472] 7	[100.0] 100.0	[1,049,500] 0 [0]	[713] 0	[1,900] 0
(7)挑戦的研究(開拓)	[988] 927	[182] 267	[18.4] 28.8	[1,142,700] 1,478,800 [443,640]	[6,279] 5,539	[17,500] 17,500
(8)挑戦的研究(萌芽)	[13,718] 13,235	[3,043] 3,557	[22.2] 26.9	[6,248,000] 6,898,000 [2,069,400]	[2,053] 1,939	[4,500] 4,800
(9)若手研究(A) ※1	[980] 604	[956] 575	[97.6] 95.2	[3,675,917] 1,839,171 [551,751]	[3,845] 3,199	[13,200] 8,800
(10)若手研究(B)	[9,302] 3,808	[9,270] 3,808	[99.7] 100.0	[8,424,400] 2,657,800 [797,340]	[909] 698	[2,600] 2,200
(11)若手研究	[20,369] 25,653	[6,256] 13,894	[30.7] 54.2	[8,273,100] 16,212,700 [4,863,810]	[1,322] 1,167	[3,100] 3,200
(12)研究活動スタート支援	[4,695] 4,686	[1,775] 2,215	[37.8] 47.3	[1,799,463] 2,207,829 [662,349]	[1,014] 997	[1,500] 1,800
(13)奨励研究	[3,657] 3,401	[561] 522	[15.3] 15.3	[268,046] 255,034	[478] 489	[580] 580
研究成果公開促進費	[1,082] 1,455	[451] 653	[41.7] 44.9	[1,056,000] 1,115,630	[2,341] 1,708	[35,300] 35,300
研究成果公开发表	[91] 96	[46] 43	[50.5] 44.8	[85,500] 104,900	[1,859] 2,440	[9,000] 8,400
ひらめき☆ときめきサイエンス※2	[-] 430	[-] 234	[-] 54.4	[-] 99,830	[-] 427	[-] 500
国際情報発信強化	[94] 86	[65] 67	[69.1] 77.9	[341,700] 340,500	[5,257] 5,082	[35,300] 35,300
学術図書	[758] 722	[282] 258	[37.2] 35.7	[443,900] 421,100	[1,574] 1,632	[7,800] 8,900
データベース	[139] 121	[58] 51	[41.7] 42.1	[184,900] 149,300	[3,188] 2,927	[9,000] 7,100
合計	[148,315] 148,543	[73,325] 76,815	[49.4] 51.7	[141,982,876] [42,197,649] 144,317,762 [42,884,129]	[1,936] 1,879	[162,400] 178,200

(注1) 上段〔 〕内は前年度、下段【 】は間接経費(外数)を示す。

(注2) 基盤研究(C)、挑戦的研究(萌芽)、若手研究、研究活動スタート支援については、基金種目であるため、「配分額」欄及び「1課題あたりの配分額」欄には、令和元(2019)年度の当初計画に対する配分額を計上。

(注3) 「特別研究員奨励費」、基盤研究(B-C)「特設分野研究」、「新学術領域研究(研究領域提案型)」は含まない。
なお、基盤研究(B-C)「特設分野研究」の令和元(2019)年度新規・継続分の応募・採択状況は、応募数(1,004件)、採択数(357件)、配分額(直接経費 922,100千円、間接経費 276,630千円)であった。

(注4) ※1は、平成24(2012)年度から平成26(2014)年度は一部基金化研究種目であったため、「配分額」欄及び「1課題あたりの配分額」欄の平成24(2012)年度から平成26(2014)年度採択課題は、令和元(2019)年度の当初計画に対する配分額を計上。

(注5) ※2は、令和元(2019)年度から研究成果公開促進費として実施したため、新規課題のみ計上。

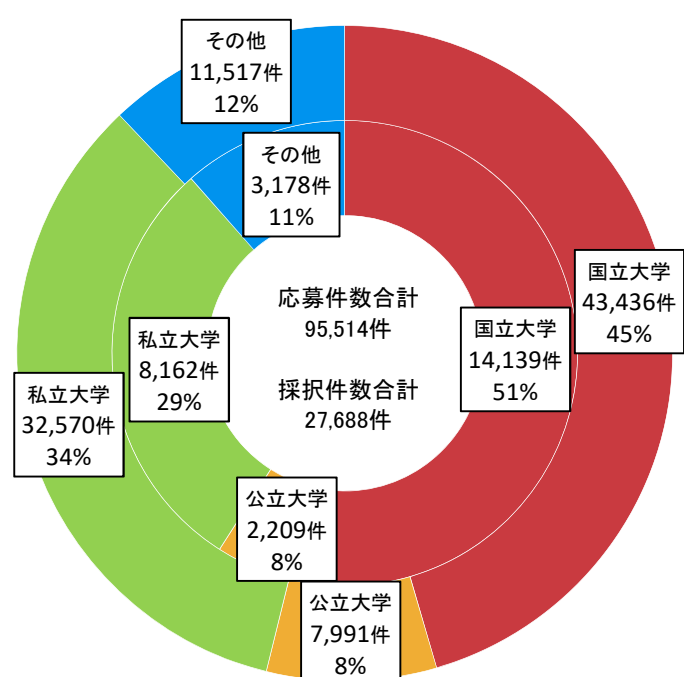
(3) 研究機関種別の応募・採択等の状況

区分	応募件数	採択件数	採択率	配分額(千円)	平均配分額(千円)
国立大学	43,436	14,139	32.6%	35,436,100	2,506
公立大学	7,991	2,209	27.6%	3,750,000	1,698
私立大学	32,570	8,162	25.1%	13,019,200	1,595
その他	11,517	3,178	27.6%	7,109,300	2,237
短期大学、 高等専門学校	3,205	447	13.9%	637,600	1,426
大学共同利用機関法人	926	336	36.3%	956,000	2,845
国公立試験研究機関	1,131	394	34.8%	652,700	1,657
特殊法人、 独立行政法人等	5,318	1,735	32.6%	4,321,800	2,491
一般社団法人、 一般財団法人	783	232	29.6%	446,700	1,925
企業等の研究所	154	34	22.1%	94,500	2,779
合計	95,514	27,688	29.0%	59,314,600	2,142

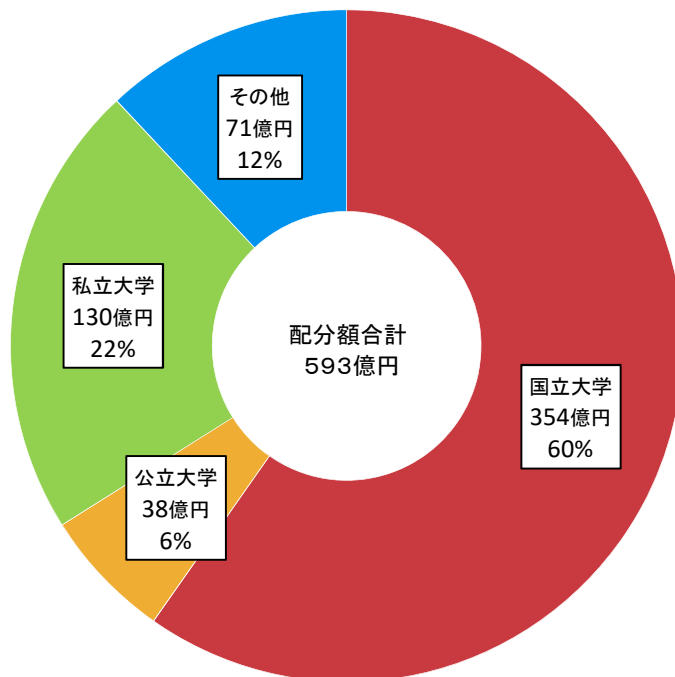
※対象:「特別推進研究」、「基盤研究(S・A・B・C)」、「特設分野研究」を除く、「若手研究」、「挑戦的研究(開拓・萌芽)」、「研究活動スタート支援」

応募・採択件数

※外円は応募件数、内円は採択件数



配分額

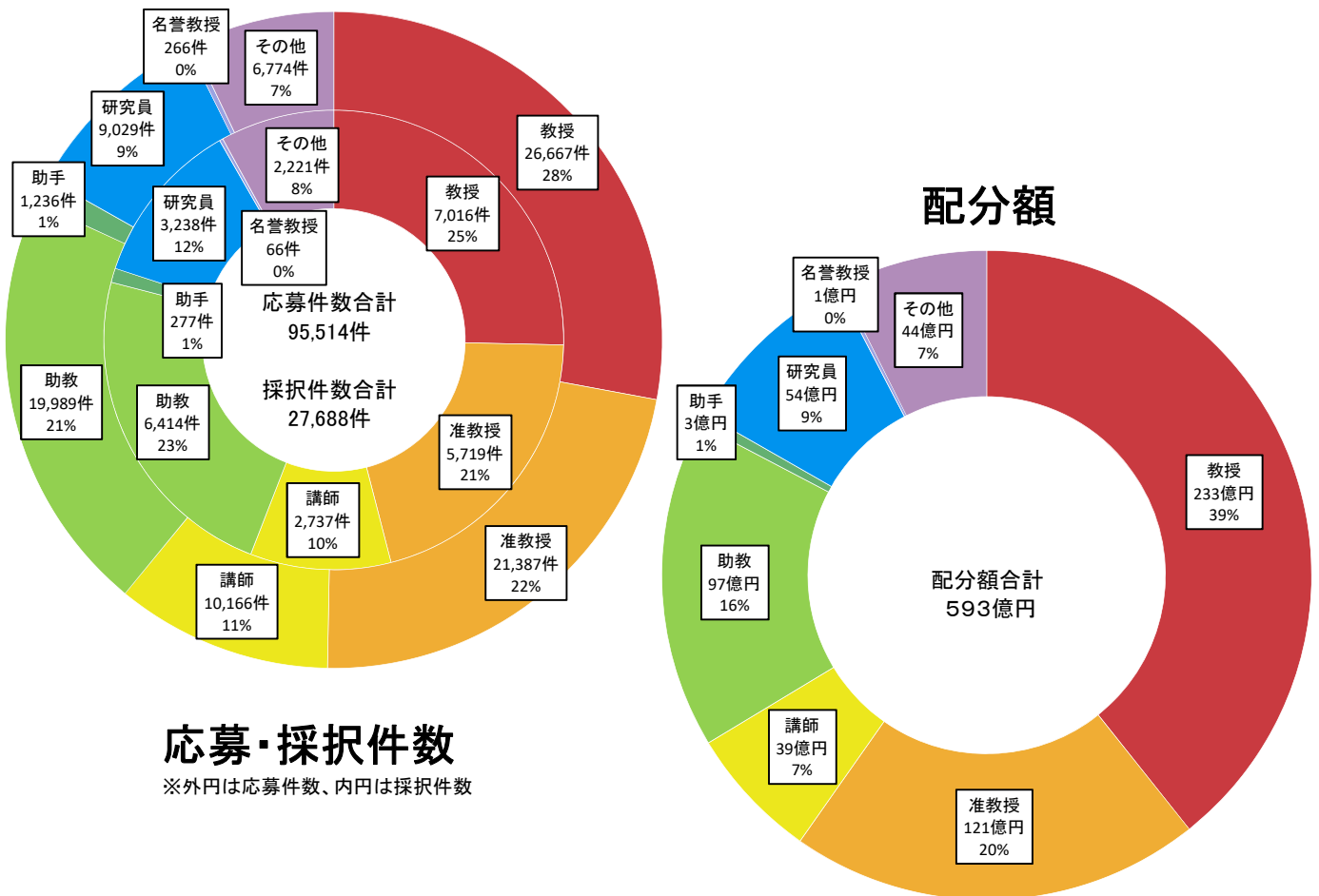


※円グラフに表示されている割合・値については、四捨五入のために、合計が100%や合計値にならないことがある。

(4)職種別の応募・採択等の状況

区分	応募件数	採択件数	採択率	配分額(千円)	平均配分額(千円)
教授	26,667	7,016	26.3%	23,303,900	3,322
准教授	21,387	5,719	26.7%	12,126,900	2,120
講師	10,166	2,737	26.9%	3,932,400	1,437
助教	19,989	6,414	32.1%	9,693,300	1,511
助手	1,236	277	22.4%	333,800	1,205
研究員	9,029	3,238	35.9%	5,413,300	1,672
名誉教授	266	66	24.8%	120,000	1,818
その他	6,774	2,221	32.8%	4,391,000	1,977
合計	95,514	27,688	29.0%	59,314,600	2,142

※対象:「特別推進研究」、「基盤研究(S・A・B・C)」、「特設分野研究」を除く、「若手研究」、「挑戦的研究(開拓・萌芽)」、「研究活動スタート支援」

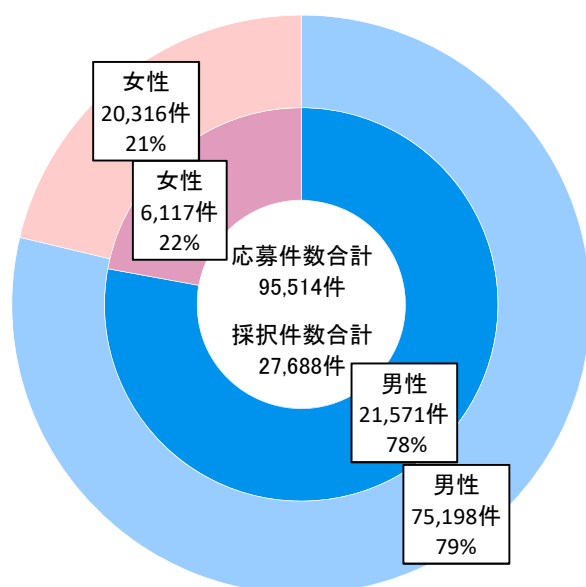


※円グラフに表示されている割合・値については、四捨五入のために、合計が100%や合計値にならないことがある。

(5) 男女別の応募・採択等の状況

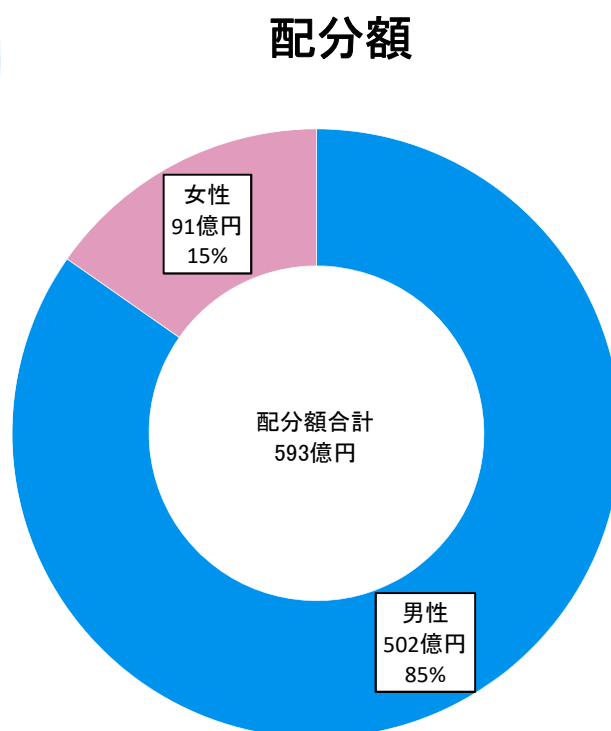
区分	応募件数	採択件数	採択率	配分額(千円)	平均配分額(千円)
男性	75,198	21,571	28.7%	50,244,400	2,329
女性	20,316	6,117	30.1%	9,070,200	1,483
合計	95,514	27,688	29.0%	59,314,600	2,142

※対象:「特別推進研究」、「基盤研究(S・A・B・C)」、「特設分野研究」を除く、「若手研究」、「挑戦的研究(開拓・萌芽)」、「研究活動スタート支援」



応募・採択件数

※外円は応募件数、内円は採択件数

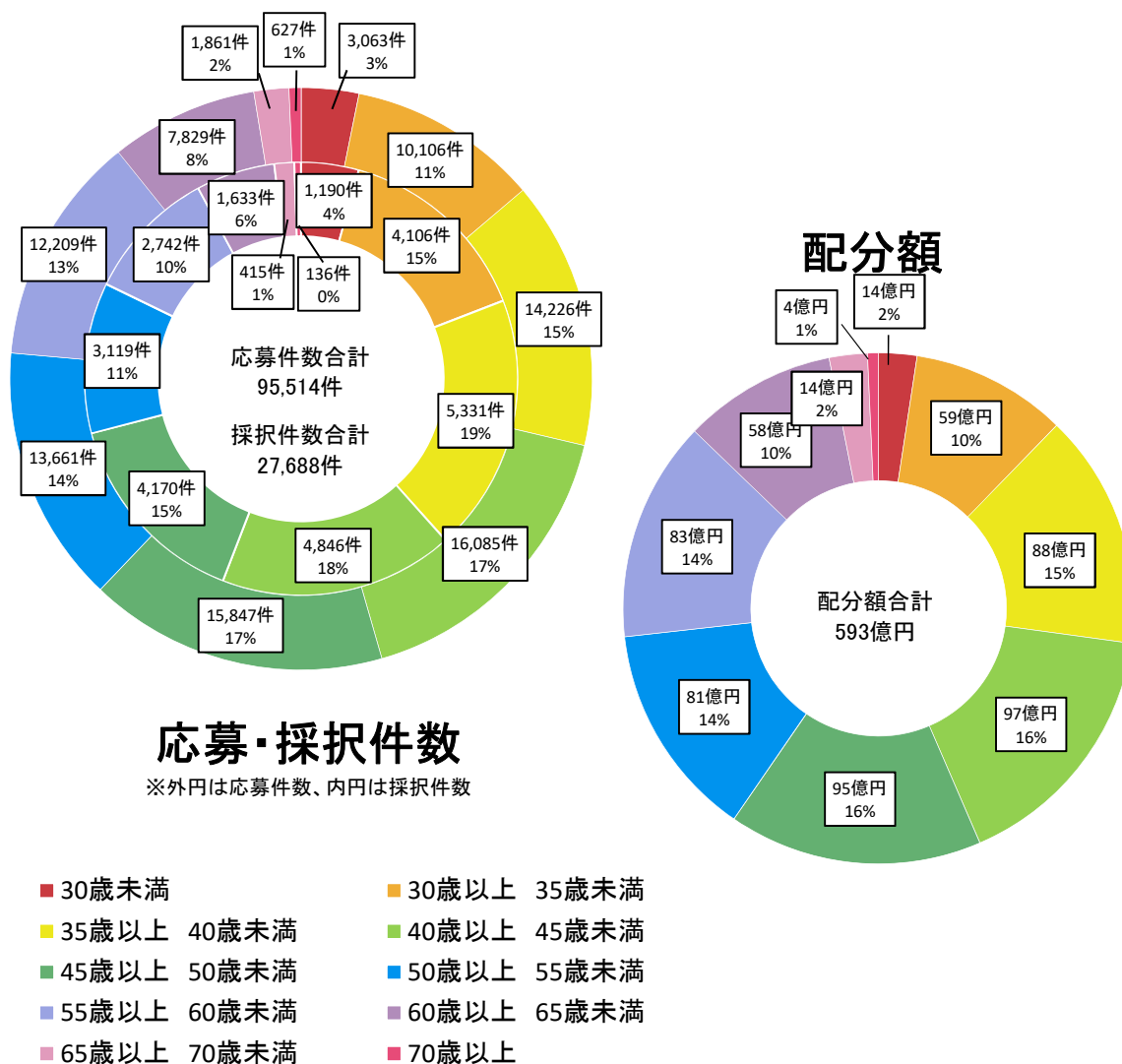


※円グラフに表示されている割合・値については、四捨五入のために、合計が100%や合計値にならないことがある。

(6) 年齢別の応募・採択等の状況

区分	応募件数	採択件数	採択率	配分額(千円)	平均配分額(千円)
30歳未満	3,063	1,190	38.9%	1,436,500	1,207
30歳以上 35歳未満	10,106	4,106	40.6%	5,851,200	1,425
35歳以上 40歳未満	14,226	5,331	37.5%	8,842,900	1,659
40歳以上 45歳未満	16,085	4,846	30.1%	9,672,500	1,996
45歳以上 50歳未満	15,847	4,170	26.3%	9,537,100	2,287
50歳以上 55歳未満	13,661	3,119	22.8%	8,098,200	2,596
55歳以上 60歳未満	12,209	2,742	22.5%	8,285,300	3,022
60歳以上 65歳未満	7,829	1,633	20.9%	5,750,400	3,521
65歳以上 70歳未満	1,861	415	22.3%	1,428,100	3,441
70歳以上	627	136	21.7%	412,400	3,032
合計	95,514	27,688	29.0%	59,314,600	2,142

※対象:「特別推進研究」、「基盤研究(S・A・B・C)」、「特設分野研究」を除く、「若手研究」、「挑戦的研究(開拓・萌芽)」、「研究活動スタート支援」



※円グラフに表示されている割合・値については、四捨五入のために、合計が100%や合計値にならないことがある。